

# 住人十色

第47回

選挙への関心を呼びかけ、  
選挙管理委員長として尽力

大星 通さん (84) 本町2



◎穏やかな笑顔で賞状を手にする大星さん。「長年務めさせていただき、本当にありがとうございます」と語る

就任中は、「せっかく投票所まで足を運んで書いてもらつた一票を、無駄にしては申し訳ない」と、できる限り無効票を出さない」とを信念に取り組んできたと言います。

「委員を務めたことで、政治に対する関心がより深まり、自分の意見が言えるようになつた。政治に近付けたことは、とても意義があつた」と語る大星さん。退任までの約18年間を振り返り、「長年務めることができたのは、委員さんはじめ関係者の方々の協力と、そして何よりも町民の皆さんのおかげ」と、心からの感謝を表します。

最後に、「選挙は國民が政治に携わるための権利。そのことを自覚し、もつともつと皆さんに関心を持つてほしい」と力を込めて呼びかけました。

長年にわたり内子町選挙管理委員会委員として各種選挙の適正な執行に尽力してきた大星通さん。その功績が認められ、12月に行われた第46回衆議院議員選挙において総務大臣表彰を受けました。40年の教員生活を終え、大瀬公民館（現・大瀬自治センター）館長として勤務していた平成7年9月、委員に就任。16年からは8年5ヶ月にわたって委員長の責を果たし、今年2月に退任しました。

就任中は、「せっかく投票所まで足を運んで書いてもらつた一票を、無駄にしては申し訳ない」と、できる限り無効票を出さない」とを信念に取り組んできたと言います。

編集  
幸記

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の  
フリーダイヤル  
☎ 0120(44)2130



△10年前に卒業した母校を取材で訪ねました。校舎や雰囲気は当時と変わらず、タイムスリップしたような感じ。あの頃を思い出すことがでれ、うれしかつたです。（力）